

『イマリ・キャンドル・クリスマス 2025』 鍋島焼 350 周年の街並みに灯るキャンドル

大川内山で、佐賀県と伊万里鍋島焼協同組合、市が、鍋島焼開窯 350 周年を盛り上げようと『イマリ・キャンドル・クリスマス 2025』を開催しました。歴史情緒あふれる街並みが、キャンドルとイルミネーションのあたたかい光に包まれ、街のシンボルである煙突が巨大なキャンドルに変身したほか、やきものを抱えた高さ 10 m の巨大サンタクロースが登場するなど、訪れた人は幻想的な光景を楽しんでいました。



↑ 人気店の限定グルメやクリスマスマーケット、音楽ライブ、くろくや絵付け体験などを楽しもうと多くの人でにぎわいました

うちどくイベント『トコトコ大冒険 in 夢みさき公園』 絵本を題材に創意工夫された任務に挑む

いまり夢みさき公園で『トコトコ大冒険 in 夢みさき公園』がありました。これは、黒川町内外の家庭に、家族で読書に親しむ『家読（うちどく）』の良さを知ってもらおうと、黒川町家読連絡会が開いたもので、約 100 人が参加しました。参加者は、公園内に設置されたチェックポイントで、絵本の世界に触れるミッションなどをクリアし、散策も楽しみながらスタンプを集めてゴールを目指していました。



↑ 『ぐるぐる岩（とりで）』では、絵本の読み聞かせが行われ、参加者は、絵本の世界を楽しみながらその魅力を味わっていました

グリーン・ツーリズム体験イベント第2弾 『クリスマスリース作り』『餅つき』を体験

脇野公民館で、親子を対象としたクリスマスリース作り&餅つき体験がありました。これは、市と市観光協会が、自然・食文化・伝統の魅力を体験を通じて伝えようと開催している『グリーン・ツーリズム体験イベント』の一環として行われたものです。参加者は、自分だけのクリスマスリースを試行錯誤しながら作ったり、杵と臼を使った昔ながらの餅つきを楽しんだりしたあとに、みんなで丸めた餅をおいしそうに食べていました。



↑ 餅つきが初めての参加者もいて、最初は戸惑い気味でしたが、すぐに慣れて協力しながら楽しそうに餅をついていました

『伊万里産果実酒&伊万里牛絶品メンチカツの販売会』 英知を結集し地域の特色を生かした品ずらり

道の駅伊万里『伊万里ふるさと村』で『伊万里クラフト』と銘打った特別販売イベントがあり、伊万里産の果実を使用した果実酒『青春のしずく』や、伊万里牛を 100% 使用したメンチカツ『こいが伊万里メンチ』などが販売されました。また、商品の企画などに携わった長崎県立大学の学生が、特産品が当たる『いまりんモーモちゃんとのじゃんけん大会』を運営するなど、イベントは大盛況を博しました。



↑ じゃんけん大会は、いまりんモーモちゃんと、なし万梨くんが参加し、運営もよくて大きな盛り上がりを見せていました